



カンボジア通信



第14号 2016年1月発行

〒464-8610 名古屋市千種区今池2-1-10
河合塾 カンボジア教育支援活動グループ

友好勲章の叙勲式



8月19日、カンボジア-日本友好学園において、カンボジア政府による「友好勲章叙勲式」が行われ、河合塾は永年のカンボジア教育支援活動に対し「友好勲章 大十字章」を受勲いたしました。



式典の様子



ソー・ケン副首相（左）
活動グループ代表・大脇（右）

この日はカンボジア政府を代表してソー・ケン副首相が、日本政府を代表して隈丸在カンボジア日本大使がご出席され、現地住民や生徒たち500名ほどが式典に臨み、日本の他のNPO・NGO団体や個人も同時受勲しました。また、日本のNPO団体が出資して建設された新校舎(2階建、10教室)のお披露目もあり、そこには河合塾から寄贈した机・椅子・黒板が並んでおりました。現在、カンボジア-日本友好学園(中学・高校)には1,500名の生徒が在籍し日々勉強に取り組んでおり、カンボジア国内でも1・2を争うほどの優秀な学校に成長しましたが、まだ教育環境は国内で十分でなく、さらに生計も厳しく大学進学は1割程度しか叶っていません。カンボジアの将来を背負って立つ若者たちですから、出来る限りの支援をしつつ、逆に豊かな日本の若者たちに刺激を与える活動を続けていきたいと考えています。今回いただいた勲章は河合塾だけでなく、多数の支援をいただいた方々・団体の皆様からのご協力をいただいた賜物です。代表してご報告とお礼を申し上げます。

カンボジア講演会 実施報告 / IN 名古屋校&立川校

松原 明美氏

10月10日(土)河合塾立川校にて、10月11日(日)河合塾名古屋校にて「カンボジア文化交流会」を開催しました。今回の講演者は、一般社団法人こころ館代表理事を務め、心理・絵本セラピストとして活躍している松原明美氏をお招きしました。松原氏は日本の学校や会社で絵本を使用し、自分の内面と向き合うワークショップや研修を行なう活動を評価され、現在カンボジアの子ども達へもその活動を広げています。松原氏はカウンセリングやワークショップを通して2,000人と向き合った経験を生かし、「自分に生まれてきてよかったと思える人生」「自分の気持ちを大切に、ココロを置き去りにしない生き方」をテーマに活動を行なっています。絵本はそれらを分かりやすく伝えるツールとして活用しているそうです。講演では、松原氏自身の経験や息子さんの経験を通して「自身のココロ」と向き合った実体験や、松原氏と一緒に活動を行なっている大学生(元河合塾生)から受験生に向けたメッセージをお話いただきました。当日は塾生だけでなく保護者の方々にもご参加いただきました。講演終了後は松原氏から参加者へ声をかけ、松原氏と話すことで参加者の表情がみるみる明るくなり、ココロが解きほぐされているような姿が印象的でした。



～参加者のみなさんからのアンケート～(一部抜粋)

- ・何か物資を与えるだけとして見られがちだが、相手側(今回はカンボジア)からも何か与えられていることを知り、一方的な行為で終わってなくてよかったと思いました。(塾生)
- ・私も浪人生ですごく今焦っていて、むやみやたらに勉強していましたが、それではダメで、ちゃんと心で考えていることにも目を向けて勉強していこうと思いました。(塾生)
- ・心理に興味があって、中学の頃に自分が体験した、どうしようもない、どこにもやれない気持ちを抱えた子どもの力になりたいと思っていたのですが、「やりたい、助けて!」と思うばかりで、その当時の自分の気持ちを忘れていたと気付くことができました。でもやっぱりやりたいことは、子供だけでなく私の周りの人の支えになることなので、「周りの人」の範囲を広げて学んでいきたいです。(塾生)
- ・今日は残念ながら、子供は参加できなかったのですが、今の子供にとってヒントとなる言葉をたくさん頂くことが出来ました。家に戻りましたら、子供と対話したいと思います。(塾生保護者)



2015年4月 つばさ橋完成・開通

カンボジアでは東西の交通網として国道1号線が走っています。この国道は首都プノンペン～ベトナムを繋ぐ大動脈ですが、道中に大河・メコン川が走り、その横断をフェリーが助けてきました。この度、日本からの協力でメコン川を横断する橋が完成しました。通称は「つばさ橋」(現地では「キズナ橋」)。この橋の完成により交通網は格段に向上し、首都からカンボジア-日本友好学園のあるプレイベン州まで2時間程度と、1時間以上の時間短縮を実現されました。プノンペンをはさみ、タイ～ベトナムの東南アジアの大動脈が完成したことで、カンボジアは経済活動の中継地として今後ますます発展すると世界各国は分析報道しています。また、現地の通貨である「新500リエル札」には、日本の国旗とつばさ橋が印刷されています。



たくさんの温かいご支援
ありがとうございました！！



教育支援物資 協力お礼

今年度もカンボジアへの物資支援に多くの方にご協力をいただきありがとうございました。

全国から寄贈いただいた物資は河合塾(桜山)に集められ、12月12日種別に梱包しなおしました。河合塾講師・スタッフの他、コスモ生にも多数ボランティアに駆けつけていただき、1日がかかりで88箱の贈り物が完成しました。

ここではペン等が書けるかどうか1本ずつ試し書きもおこないます。中古であっても、カンボジアの生徒さんはとても大事に使ってくれます。でも、もし受け取ったペンが書けなかったら・・・? 「これで勉強できる!」と受け取った時の嬉しさが大きい反面、使えなかった場合、悲しみもとても大きいのです。「受け取った子にがっかりさせたくない」そんな気持ちで1つ1つ確認しています。

今年は今までより一層「勉強したくても環境が整っていない子どもへの贈り物として」という温かい想いを感じる物資を多く受け取りました。綺麗に整理されていたり、種類ごと括ってあったり。カンボジアの生徒宛に「はいどうぞ。これで一緒に勉強しようね。」とのメッセージが伝わるようでとても温かい気持ちになれました。その想いも一緒に伝えたいと思います。カンボジアの港シアヌークビルへの到着は1月末の予定です。そこから「カンボジア-日本友好学園」に届けられ、プレイベン州の小中学校にも配付される予定です。

河合塾マナビスより、なんとカンボジア語のメッセージも！！



寄付されたペンは1本1本書けるかどうか
試し書きをおこないます！

【会計報告】 ＜集金収入＞

2014年度 900,838円
2015年度(11月分まで) 495,025円

＜支出＞

2014年度 ●図書館蔵書寄贈(運搬等経費含む) 64,600円
●コン・ブンティ氏講演(名古屋・津田沼校) 128,220円
●増築校舎への黒板寄贈費 501,342円
2015年度 ●増築校舎への机・椅子・黒板等の運送費 1,850,269円
●松原 明美氏講演(名古屋・立川校) 247,300円